【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2007-46051(P2007-46051A)
【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-007
【出願番号】特願2006-198098(P2006-198098)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　2/38　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/37　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　5/00　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　5/10　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　17/52　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　5/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　2/38
Ｃ１１Ｄ　3/37
Ｃ０２Ｆ　5/00　６２０Ａ
Ｃ０２Ｆ　5/00　６２０Ｃ
Ｃ０２Ｆ　5/00　６２０Ｂ
Ｃ０２Ｆ　5/10　６２０Ｚ
Ｂ０１Ｆ　17/52
Ｃ０２Ｆ　5/10　６２０Ｃ
Ｃ０２Ｆ　5/12

【手続補正書】
【提出日】平成21年7月17日(2009.7.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハイブリッド共重合体の製造方法であって、
開始剤溶液の存在下で連鎖移動剤を含有する天然由来のヒドロキシルを用いて単量体溶液を重合させる段階を含み、そこでは
該開始剤溶液が金属イオンベースの酸化還元系ではなく、そして
該共重合体の合計重量に基づき、該単量体溶液が２５重量％～９９．９重量％の量で存在し、該連鎖移動剤が０．１重量％～７５重量％の量で存在する、
製造方法。
【請求項２】
共重合体の主鎖としての合成重合体、及び
該共重合体の連鎖終端部分としての天然由来のヒドロキシル含有重合体、
を含んで成るハイブリッド共重合体。
【請求項３】
請求項２に記載の重合体を含んで成る、水処理系内のカーボネート及びホスフェートスケールを予防する際に使用するための水処理組成物であって、該重合体が該組成物の１０重量％～２５重量％の量で該組成物中に存在する、水処理組成物。

【請求項４】
請求項２に記載の重合体を含んで成る清浄用配合物であって、該重合体が該清浄用配合物の０．０１重量％～１０重量％の量で存在する、清浄用配合物。
【請求項５】
単数又は複数の燐ベースのビルダー及び／又はカーボネートビルダーをさらに含んで成る、請求項４に記載の清浄用配合物。
【請求項６】
前記清浄用配合物が自動食洗器洗剤配合物である、請求項４に記載の清浄用配合物。
【請求項７】
ビルダー、界面活性剤、酵素、溶剤、ヒドロトロープ、充填剤、漂白剤、香料及び／又は着色料をさらに含んで成る、請求項６に記載の自動食洗器洗剤配合物。
【請求項８】
単数又は複数の界面活性剤をさらに含んで成る、請求項４に記載の清浄用配合物。
【請求項９】
請求項４に記載の清浄用配合物を含んで成る、粉末又は液体又は単位用量洗剤配合物。
【請求項１０】
請求項２に記載の重合体を含んで成る鉱物分散剤。
【請求項１１】
分散されている鉱物がタルク、二酸化チタン、雲母、沈殿炭酸カルシウム、重質炭酸カルシウム、沈殿シリカ、シリケート、酸化鉄、粘土、カオリン粘土又はそれらの組み合せである、請求項１０に記載の鉱物分散剤。
【請求項１２】
請求項２の重合体を含んで成る水性系処理組成物であって、水性系中で炭酸カルシウム結晶の成長を改質することができる水性系処理組成物。
【請求項１３】
前記水性系が水処理系、油田系または清浄系である、請求項１２に記載の水性系処理組成物。
【請求項１４】
請求項２に記載の重合体を含んで成る水性系処理組成物であって、スルフェートスケールを最小化することができる水性系処理組成物。
【請求項１５】
前記水性系が油田系でありかつ最小化されるホスフェートスケールが硫酸バリウムスケールである、請求項１４に記載の水性系処理組成物。
【請求項１６】
請求項２に記載の重合体を含んで成る、ファイバーグラス用バインダー。
【請求項１７】
請求項２に記載の重合体を含んで成る、超吸収剤又は粘弾性改良剤。